

# 令和5年度 第2回上落合小学校 学校運営協議会 議事録

○日時：11月13日(月) 10:30~12:30

○場所：上落合小学校 校長室

○次第：

- 【第1部】
- 1 校長挨拶
  - 2 開会宣言(会長)
  - 3 学校より(学校運営について、学校評価について)
  - 4 熟議「自己肯定感を高めるために、学校・家庭・地域で何ができるか」
  - 5 事務連絡
  - 6 閉会宣言(会長)
- 【第2部】
- 7 給食の試食



## 学校における取組の紹介

前回の熟議を受け、子どもたちの自己肯定感を高めるため、学校から「学校でできる取組」について紹介した。

### 【児童会活動：あいさつ運動・なかよしあいさつ運動】



#### ○あいさつ運動

- ・10月11日~12月20日の毎週水曜日に実施。
- ・PTAの方と一緒に活動する。

#### ○なかよしあいさつ運動

- ・ヘア学級であいさつ運動を実施する。
- ・現在進行中。

R5 児童会スローガン  
「『小さなよき社会人』として 笑顔あふれる上小へ」



### 【文化・芸術に触れる機会づくり】

校長先生と長谷川先生の演奏発表会  
(10月25日 お話集会)



書家 風香先生との作品作り



夢工房「未来くる先生」ふれ愛体験事業  
(10月30日)

### 【校内授業研究会】

※11月9日(木) 体育 6年「跳び箱運動」  
授業者：橋本教諭

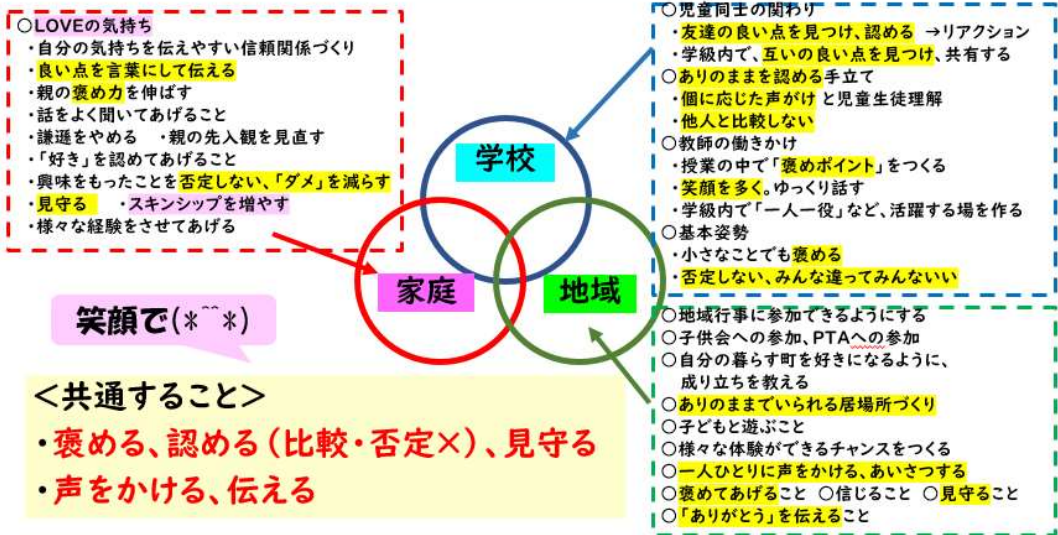


- ・子どもが**笑顔**になる授業づくり
- ・**わかる、できる(伸びる)、かかわる**ことを大切にした授業づくり

## 第1回の熟議の振り返り



子どもの自己肯定感を高めるために、3者が共通（協働）して取り組めること



## 「3者に共通すること」をもとに、各グループで案を話し合う

### 【共通すること】

褒める、認める、見守る、声をかける、伝える

### 【家庭グループ】

- 子どもとのコミュニケーションを増やす
- 知っている人を増やす → 声をかけやすくなる
- 互いを知る機会を作る
  - 上落合の有名人を知る広報活動
  - (PTA広報紙や児童会の報道委員会など)
- 褒め褒めキャンペーン
  - 児童会等子ども発信の活動がよい(例: あいさつ運動の動画)



「自己肯定感の高い子ども」をつくるには…

## 「3者に共通すること」をもとに、各グループで案を話し合う

### 【共通すること】

褒める、認める、見守る、声をかける、伝える

### 【学校グループ】

- 大前提として、3者が「みんな違ってみんないい」と心底思うこと。  
→小さいことでも「よいこと」を見つけることができる。
- 「名前付きあいさつ」をする
- アイコンタクト、スキンシップを増やす
- 褒める重点日を決める、褒めるモデル集を作成する
- 良いところカードを貼っていく、帰りの会で「輝(き)ら人」を決め、みんなで感謝する
- 人とかがかわるイベントを行う
- 活躍した児童に「校長賞」を与える。感謝を伝える



「自己肯定感の高い子ども」をつくるには…。

## 「3者に共通すること」をもとに、各グループで案を話し合う

### 【共通すること】

褒める、認める、見守る、声をかける、伝える

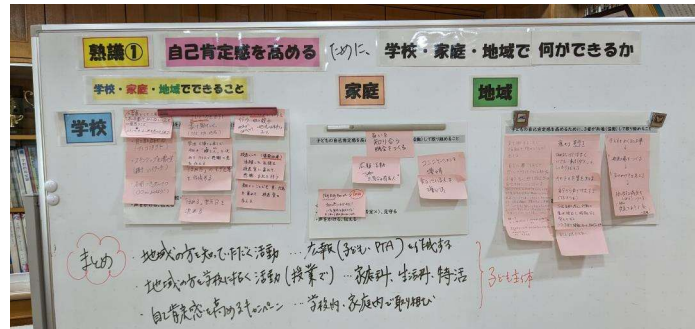
### 【地域グループ】

- 大人から声をかける。認める
- 親と子、子どもと地域の人に関わることできる場所をつくる
- 声をかけることをためらわない
- いけないことは「ダメ」と伝える
- 児童の本質を知る。子どもの行動、意味等を考え、理解する
- 子どもをよく知ること。子どもと接する(褒める)機会を作る



「自己肯定感の高い子ども」をつくるには…。

## 話合いのまとめ



### 【共通すること】

褒める、認める、見守る、声をかける、伝える → 互いがかわることが必要。

→ 自己肯定感を高める取組について、学校と家庭両者でできる内容を検討する。

(児童主体の活動、児童会発信の活動等で)

→ 地域、保護者と子どもが関わる活動を行う。

(1年生活科「昔あそび」、6年家庭科「共に生きる地域での生活」で実施)